

日本医学会分科会における
女性医師支援の
現況に関する調査報告書

平成21年4月

日本外科学会女性外科医支援委員会

日本医学会分科会における女性医師支援の現況に関する調査報告書

日本外科学会女性外科医支援委員会

キーワード

- ◆ 女性医師
- ◆ 専門医・認定医
- ◆ 日本医学会分科会
- ◆ 支援
- ◆ アンケート調査
- ◆ 男女共同参画

ポイント

- ◆ 日本医学会分科会は本邦の医学界における学会活動の中心であり、そこにおける女性医師への支援は他の学会の手本になることが期待されている。
- ◆ 本調査は、日本医学会分科会における女性医師の学会活動の現況を把握することを目的に実施した。対象は日本医学会分科会105学会で、回答は101学会から得られた(回収率96.2%)。女性学会員数、女性医師数が把握されていない学会があり、実態の把握が困難であった。
- ◆ 医学会分科会の会員の女性医師の割合は14.6%、2007年入会の女性医師の割合は23.5%と、女性会員が増加傾向にあった。外科系11学会においても女性医師の会員は増加している。
- ◆ 女性の評議員・役員の選任率が極めて低く、女性医師の会員率が高い学会においても低かった。外科系11学会ではさらに低かった。
- ◆ 編集委員に女性医師がなっている割合は女性医師の役員が少ないのと同様で、外科系11学会のうち6学会では女性医師は評議員、役員および編集委員として活動する機会を全く与えられていなかった。女性にまずは機会を与えることを希望する。
- ◆ 専門医・認定医の取得率は女性医師では大部分の学会で男性医師に比べて少なく、外科系学会ではさらに少なかった。資格更新期間の延長条件に妊娠・出産、育児休業および介護などの“ライフイベント”を含めることを提案したい。
- ◆ 医学会分科会における8年間の変化では、外科系学会を含め女性医師が増加しており、種々の支援の具体案がだされた。今後の発展に期待したい。

はじめに

現在、医学部学生の3割以上が女子学生で占められるようになっている。一方、医師の都市への偏在や、絶対数不足による様々な弊害が医療崩壊の原因として取り沙汰され、女性医師に対する期待がこれまで以上に高くなっている。しかしながら女性医師にとってキャリア形成の最大の難関は妊娠、出産、育児であり、これらを契機に離職やキャリア形成の中断を余儀なくされることが少なくない。近年、日本外科学会会員数は年々減少傾向にあるが、逆に入会者に占める女性医師の割合が約3倍に増加している。このような背景をふまえて、女性外科医が積極的に活躍できる環境を整備することを喫緊の課題として、2007年に日本外科学会においては女性外科医支援委員会を立ち上げ、学会が主体的に関与できる支援策の検討を行ってきた。

2009年の第109回日本外科学会学術集会において「女性外科医が働き続けるために一現状と今できること一」という特別企画が開催された。その一環として日本医学会分科会所属学会105学会に対し、女性医師の学会活動状況や、学会としての女性医師の支援状況を把握することを目的としたアンケート調査が行われた。アンケート回答率は96.2%と高く、非常に広範で質の高い正確な調査結果が得られたと感じている。

今回の調査にご協力頂いた各所属学会事務局ならびに関係各位の方々に心より感謝の意を表します。

平成21年4月
日本外科学会女性外科医支援委員会
委員長 寺本 龍生

日本外科学会女性外科医支援委員会

委員長	寺本 龍生	○
副委員長	高見 博	
〃	水田 祥代	
	跡見 裕	
	川瀬 和美	○
	川本 俊輔	
	神林 智寿子	
	高松 英夫	
	富澤 康子	○ ☆
	永田 康浩	○
	野村 幸世	
	萬谷 京子	○

(五十音順)

○ … 調査票作成担当者

☆ … 分析担当者

目次

1. 調査の背景と目的	1
2. 調査設計	2
3. 調査票の作成及び分析について	2
4. 分析結果	3
1. 学会における女性の割合（平均値）	3
2. 学会における女性の割合（散布図）	5
3. 専門医・認定医の制度について	10
4. 専門医・認定医の更新期間の延長について	11
■更新期間延長の留保条件	11
5. 専門医・認定医の更新期間の留保条件について	12
■学会全体	12
■外科系学会	13
6. 学会大会時の託児所設置について	14
7. 託児所用のマニュアルについて	16
8. 女性医師支援のための具体案	17
9. まとめ	20
10. 回答協力学会名（五十音順）	21
表1 女性医師数・割合	22
表2 女性医師専門医・認定医	25
表3 女性評議員・役員・編集委員	28
調査票	30

1. 調査の背景と目的

学会活動はキャリア形成に欠かせない。2000年7月に日本女医会が本邦における女性医師の学会活動の現状に関して日本医学会分科会92学会に対しアンケート調査を行った。その結果、女性では認定医・専門医の取得率が低く、評議員・理事などの学会役員の選任率が極めて低く、女性の視点から見た問題点が把握されにくいことが指摘された。

最近の日本における医師国会試験の受験者数では女性が増加しており、それに伴い、学会の新入会員に占める女性の割合が増加している。

本調査は2008年の日本医学会分科会所属学会における女性医師数と割合、評議員・役員数、認定士・専門医などの取得状況、更新の留保条件、学会託児所の設置状況、諸学会の持つ具体案など、女性医師の学会活動と支援についての現況を調べることを目的として行った。

2. 調査設計

- ①アンケート対象 日本医学会分科会 105学会
- ②調査期間 2008年8月下旬～10月末
- ③調査方法 日本外科学会事務局から日本医学会分科会の各事務局に質問用紙をメールに添付して送付した。回収はメールまたはFAXで行った。なお、回答されない学会にはメール、電話、または手紙で催促した。
- ④回答学会数 101学会(回答率 96.2%)

3. 調査票の作成及び分析について

調査票の作成および分析、考案は日本外科学会女性外科医支援委員会がおこない、調査票の送付および回収は日本外科学会事務局が行った。

105学会のうち101学会から回答が得られた。残り4学会は何度要請しても回答が得られなかった。

今回は単純に集計したが、集計・分析にあたってはメディカルデータ・マネジメント水上和寅氏の協力を得た。

本調査を本委員会が行ったため、日本医学会分科会の中の外科系11学会についても考案を加えた。

なお、本調査の結果の一部は、日本外科学会雑誌110巻3号(5月)154-161頁、2009に掲載されている。

4. 分析結果

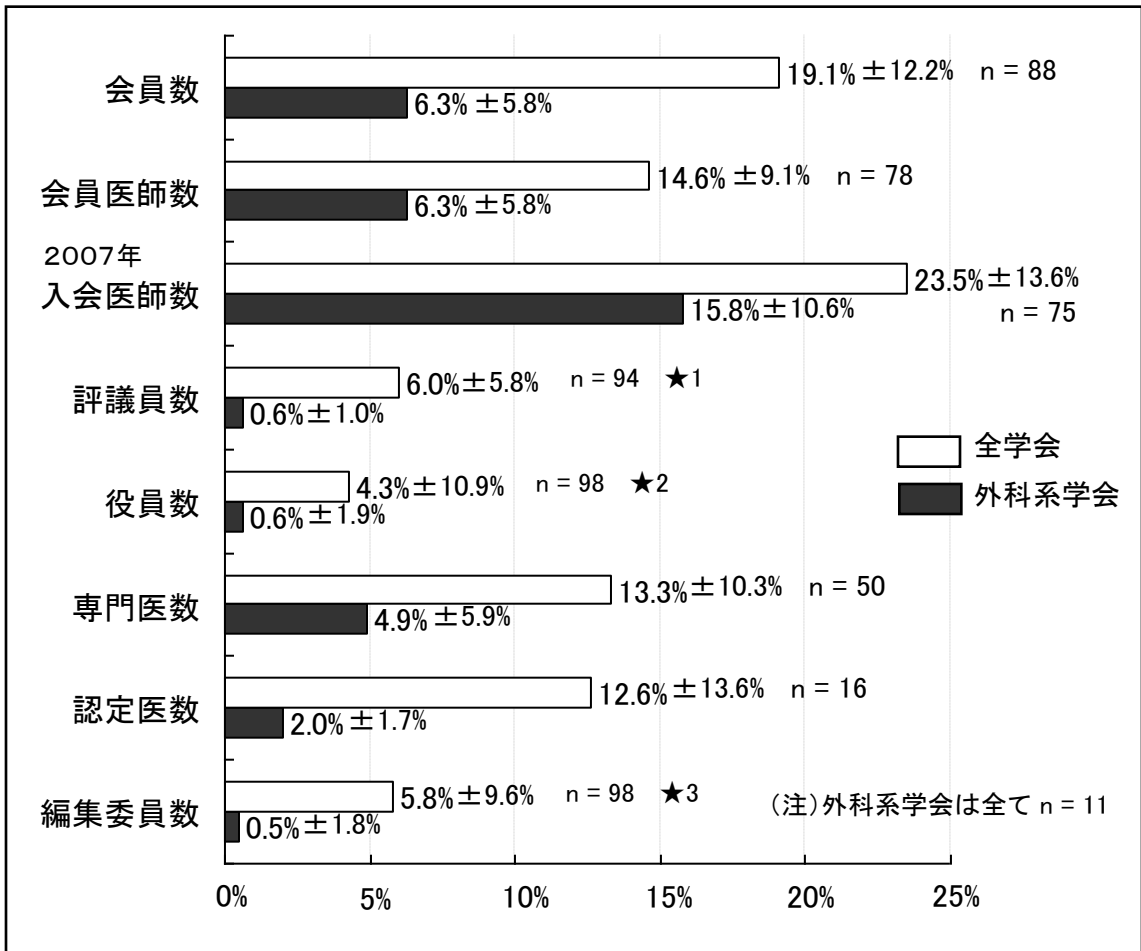
1. 学会における女性の割合（平均値）

女性医師数のデータを収集していない学会があった。評議員・役員数に関して女性医師に関する数を回答していない学会があった。

医学会分科会の女性医師の会員の割合は14.6%、外科系学会では6.3%であった(図1)。

2007年入会の医師数は、医学会分科会で女性が23.5%に増加しており、外科系学会では15.8%に増加していた。

図1 学会における女性の割合（平均値）



女性評議員は94学会中83学会におり、評議員数の6.0%であった。

外科系学会では女性評議員は評議員数の0.6%で、医学会分科会に比べて1/10であった。小児外科(9)、形成外科(3)、内視鏡外科(2)、脳神経外科(2)の4学会にしかいなかった。

女性役員は98学会中44学会にいて、役員数の4.3%であった。

外科系学会では女性役員は0.6%と少なく、形成外科(1)にしかいなかった。医学会分科会全体に比べて1/7であった。

★1 女性評議員数 (計 83学会/94学会)

日本アレルギー学会(27)、日本医学教育学会(19)、日本医学放射線学会(11)、日本移植学会(6)、日本医真菌学会(25)、日本医療機器学会(10)、日本医療情報学会(7)、日本医療・病院管理学会(17)、日本ウイルス学会(10)、日本衛生学会(50)、日本衛生動物学会(1)、日本栄養・食糧学会(31)、日本疫学会(22)、日本温泉気候物理医学会(4)、日本解剖学会(39)、日本化学療法学会(21)、日本核医学会(8)、日本癌学会(13)、日本眼科学会(5)、日本感染症学会(37)、日本肝臓学会(5)、日本癌治療学会(1)、日本気管食道科学会(3)、日本救急医学会(3)、日本矯正医学会(1)、日本形成外科学会(3)、日本血液学会(37)、日本結核病学会(13)、日本血栓止血学会(6)、日本高血圧学会(7)、日本公衆衛生学会(73)、日本交通医学会(13)、日本呼吸器学会(9)、日本細菌学会(11)、日本産業衛生学会(172)、日本産科婦人科学会(9)、日本耳鼻咽喉科学会(8)、日本周産期・新生児医学会(16)、日本循環器学会(3)、日本消化器病学会(18)、日本消化器内視鏡学会(15)、日本小児科学会(52)、日本小児外科学会(9)、日本小児神経学会(21)、日本職業・災害医学会(8)、日本自律神経学会(22)、日本神経学会(24)、日本神経病理学会(18)、日本人工臓器学会(3)、日本心身医学会(149)、日本腎臓学会(7)、日本人類遺伝学会(15)、日本生化学会(87)、日本生殖医学会(4)、日本生体医工学会(7)、日本生理学会(117)、日本先天異常学会(7)、日本体力医学会(27)、日本超音波医学会(16)、日本透析医学会(10)、日本糖尿病学会(39)、日本東洋医学会(7)、日本内科学会(3)、日本内視鏡外科学会(3)、日本内分泌学会(6)、日本乳癌学会(42)、日本脳神経外科学会(2)、日本農村医学会(1)、日本ハンセン病学会(3)、日本泌尿器科学会(1)、日本皮膚科学会(27)、日本肥満学会(17)、日本平滑筋学会(2)、日本法医学会(17)、日本麻酔科学会(10)、日本脈管学会(3)、日本免疫学会(13)、日本薬理学会(6)、日本輸血・細胞治療学会(25)、日本リウマチ学会(42)、日本リハビリテーション医学会(15)、日本臨床検査医学会(20)、日本臨床細胞学会(28)、日本リンパ網内系学会(7)、日本老年医学会(29)

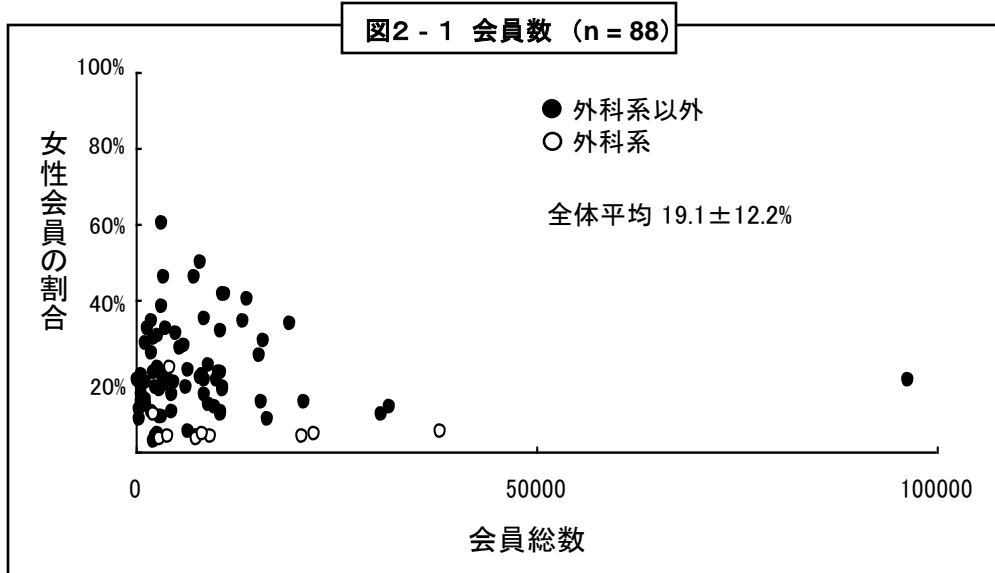
★2 女性役員数 (計 44学会/98学会)

日本医学教育学会(2)、日本医史学会(4)、日本医真菌学会(1)、日本医療機器学会(2)、日本医療情報学会(2)、日本ウイルス学会(1)、日本衛生学会(1)、日本栄養・食糧学会(1)、日本疫学会(2)、日本温泉気候物理医学会(1)、日本解剖学会(1)、日本核医学会(2)、日本眼科学会(3)、日本感染症学会(1)、日本形成外科学会(1)、日本血液学会(1)、日本結核病学会(3)、日本公衆衛生学会(6)、日本細菌学会(1)、日本産業衛生学会(5)、日本周産期・新生児医学会(2)、日本小児科学会(1)、日本小児神経学会(4)、日本自律神経学会(2)、日本神経学会(1)、日本人工臓器学会(1)、日本心身医学会(1)、日本腎臓学会(1)、日本人類遺伝学会(1)、日本生化学会(1)、日本生理学会(4)、日本体力医学会(1)、日本超音波医学会(1)、日本糖尿病学会(1)、日本動脈硬化学会(1)、日本内分泌学会(1)、日本皮膚科学会(1)、日本病理学会(1)、日本平滑筋学会(1)、日本民族衛生学会(3)、日本免疫学会(1)、日本薬理学会(1)、日本リウマチ学会(1)、日本臨床検査医学会(1)、

★3 女性編集委員数 (計 51学会/98学会)

日本アレルギー学会(1)、日本医学教育学会(1)、日本医学放射線学会(2)、日本医真菌学会(2)、日本医療機器学会(2)、日本医療情報学会(2)、日本医療・病院管理学会(2)、日本ウイルス学会(1)、日本衛生学会(1)、日本衛生動物学会(1)、日本栄養・食糧学会(1)、日本疫学会(3)、日本解剖学会(1)、日本化学療法学会(2)、日本核医学会(2)、日本眼科学会(1)、日本感染症学会(2)、日本肝臓学会(1)、日本外科学会(1)、日本血液学会(1)、日本結核病学会(3)、日本血栓止血学会(1)、日本高血圧学会(2)、日本口腔科学会(1)、日本公衆衛生学会(6)、日本交通医学会(2)、日本細菌学会(1)、日本産業衛生学会(6)、日本産科婦人科学会(1)、日本循環器学会(1)、日本消化器病学会(3)、日本小児科学会(2)、日本小児神経学会(8)、日本職業・災害医学会(1)、日本神経病理学会(1)、日本人工臓器学会(1)、日本心身医学会(2)、日本腎臓学会(1)、日本人類遺伝学会(3)、日本生化学会(5)、日本生理学会(9)、日本先天異常学会(3)、日本超音波医学会(2)、日本透析医学会(3)、日本東洋医学会(1)、日本乳癌学会(1)、日本病理学会(13)、日本民族衛生学会(4)、日本薬理学会(1)、日本リハビリテーション医学会(1)、日本リンパ網内系学会(1)

2. 学会における女性の割合（散布図）



会員数が最も多かったのは内科(96541人)、最も女性医師の会員数が多かったのも内科(18093人)であった(図2-1)。会員(医師を含む)の中で最も女性の割合が多かったのは医療機器(60%)であった。

医師の会員(図2-2)で女性が多いのは、内科(18093人)、小児科(6342人)、眼科(5597人)の順であった。女性医師の割合が多い学会は皮膚科(41%)、眼科(40%)、小児神経(38%)の順であった。

外科系学会では女性医師数が多いのは外科(1889人)、形成外科(970人)、整形外科(953人)の順であった。女性医師の割合が多い外科系学会は形成外科(22%)、小児外科(10%)、外科(5%)、脳神経外科(5%)の順であった。

図2 - 2 会員医師数 (n = 78)

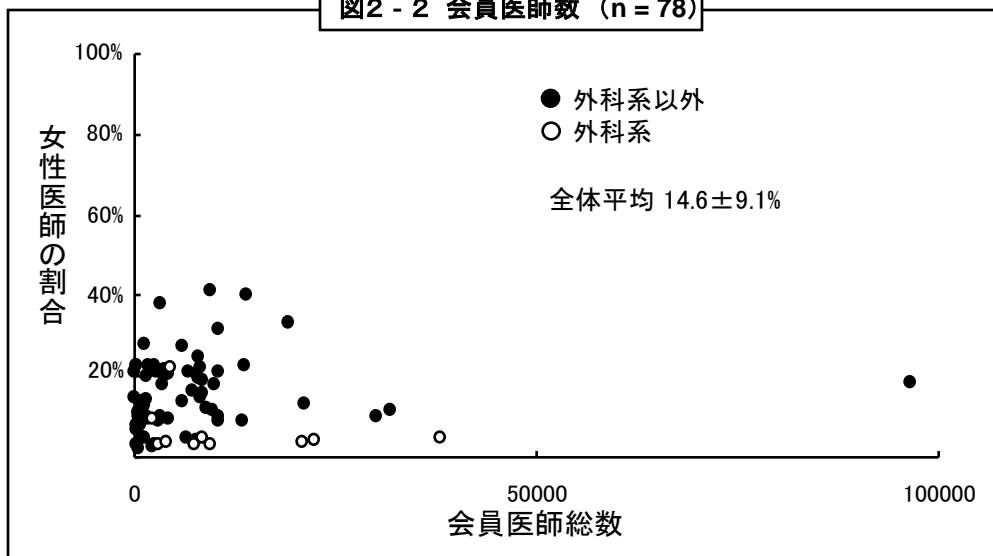
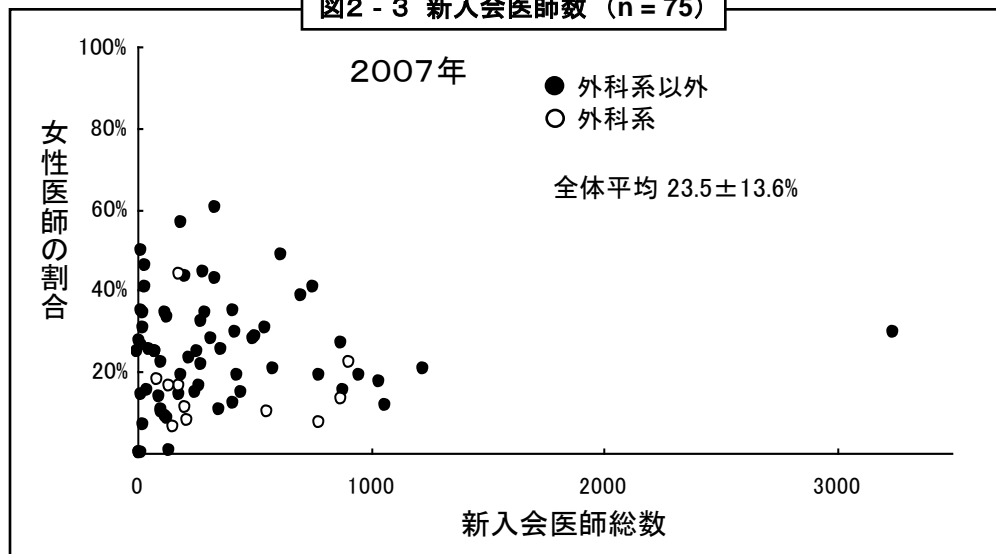
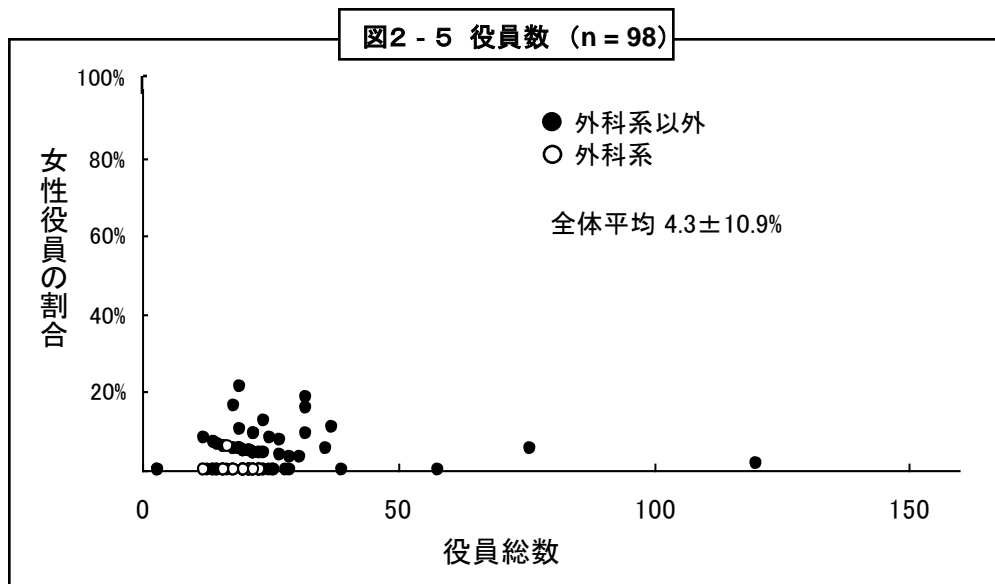
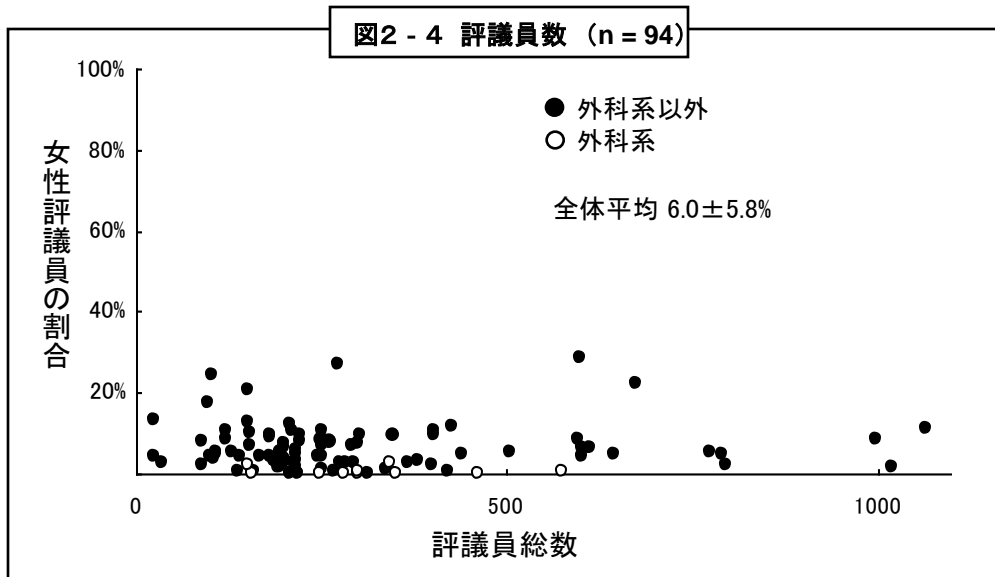


図2 - 3 新入会医師数 (n = 75)



2007年の新入会医師(図2-3)では女性の数が最も多かったのが内科(954人)であった。新入会医師の過半数を女性が占めていたのは産科婦人科(60%)、生殖医(57%)、生体医工(50%)の3学会であった。

外科系学会で新入会医師の女性数が多い順に外科(203人)、消化器外科(114人)、形成外科(79人)で、新入会の女性医師の割合が多かったのは形成外科(44%)、外科(22%)、小児外科(18%)の順であった。外科系11学会においては新入会女性医師の割合は女性会員の割合に比べて全ての学会において増加していた。



評議員の20%以上が女性であったのは5学会(産業衛生、公衆衛生、医真菌、心身医、栄養・食糧)のみであった(図2-4)。外科系学会では女性の評議員は小児外科(9人)、形成外科(3人)、内視鏡外科(3人)、脳神経外科(2人)の4学会にのみ存在した。

女性の役員は(図2-5)外科系学会では形成外科のみであった。

女性の評議員・役員への選任率は低く、評議員および役員の両方ともに女性がいなかったのは12学会であった。外科系学会では胸部外科、外科、血管外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、整形外科の7学会に評議員・役員がいなかった。

女性医師の会員の割合が30%以上ある学会の皮膚科(11%)、眼科(5%)、小児神経(10%)でも女性の評議員の選任率は低かった。

図2 - 6 専門医数 (n = 50)

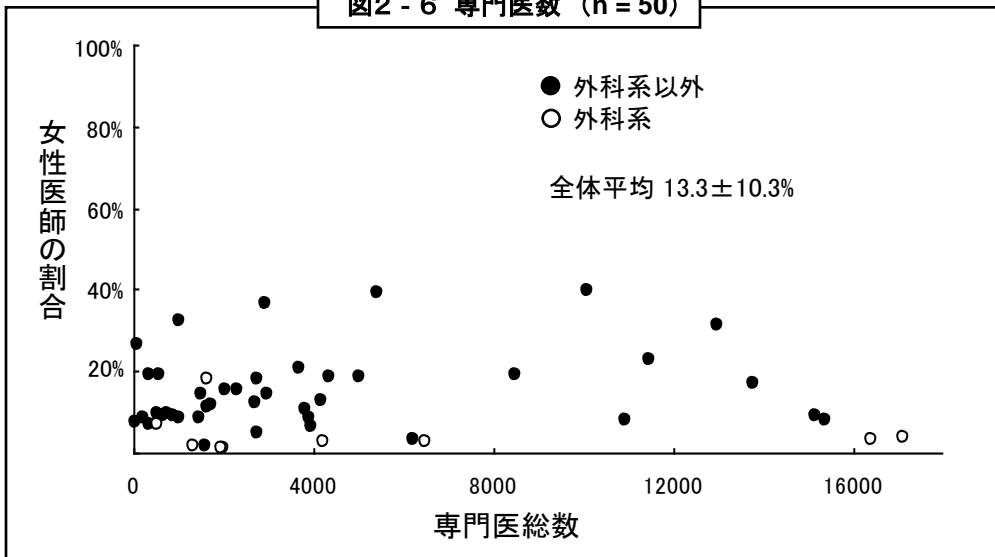
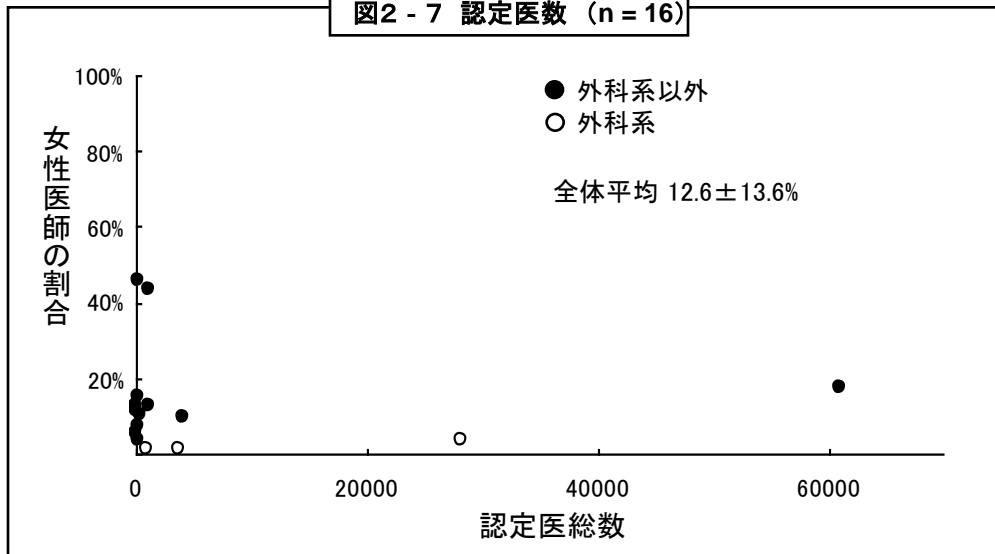


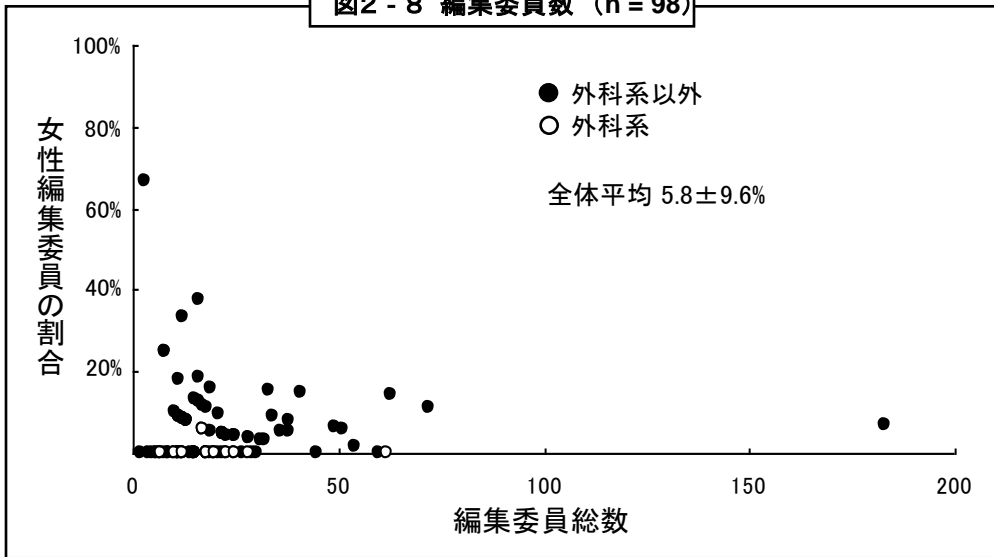
図2 - 7 認定医数 (n = 16)



専門医(図2-6)は全体の取得率が会員の1%から80%であるのに対し、女性の取得率は1%から73%であった。

認定医(図2-7)は全体の取得率が0.3%から74%であるのに対し、女性の取得率は0.3%から64%であった。

図2 - 8 編集委員数 (n = 98)



女性の編集委員(図2-8)は98学会中51学会にいた。女性医師の割合が最も多い皮膚科では女性会員の割合が41%であるにもかかわらず、女性評議員11%、女性役員6%と少ない上に、女性の編集委員はいなかった。

外科系学会での編集委員は外科に1人いたのみで、他の10学会にはいなかった。

評議員、役員、編集委員の3つそろって全く女性がいない学会は11学会あり、うち外科系学会は6学会が含まれていた。

3. 専門医・認定医の制度について

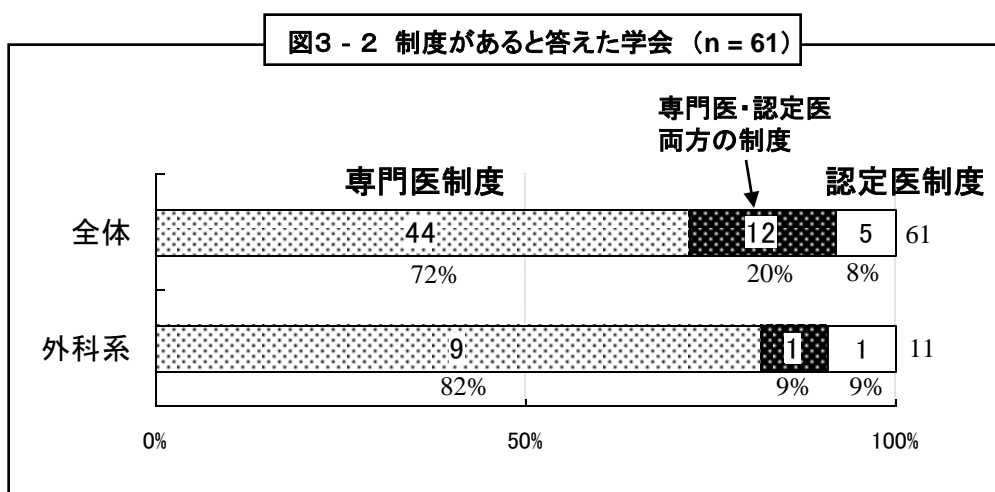
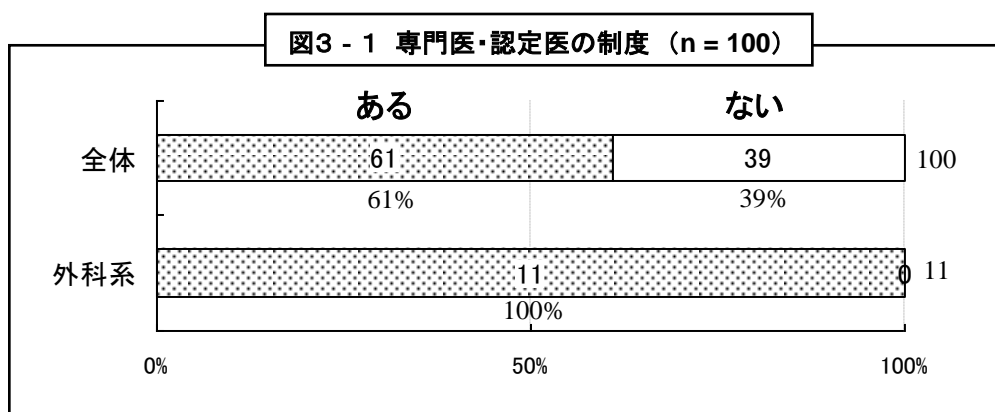
専門医・認定医制度を有しているのは、分科会全体では61学会、外科系学会では全11学会であった(図3-1)。

専門医・認定医の両方の制度があるのは12学会(20%)、認定医のみ5学会(8%)、専門医のみ44学会(72%)であった(図3-2)。

認定医で女性の取得率が全体の取得率よりも上回っていたのは小児科、麻酔科、輸血・細胞治療の3学会であった。

専門医で女性の取得率が全体の取得率よりも上回っていたのは麻酔科、リハビリテーションの2学会であった。

外科系学会では女性の取得率は全て全体よりも下回っていた

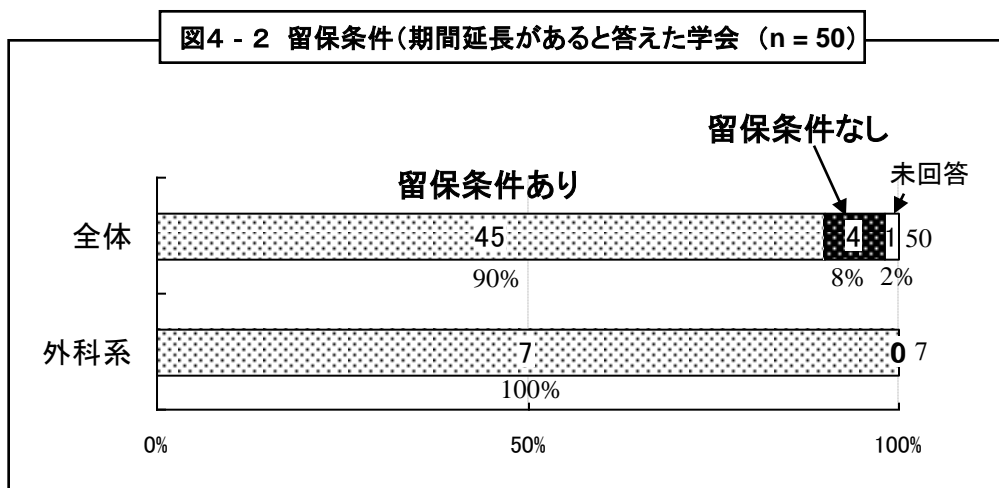
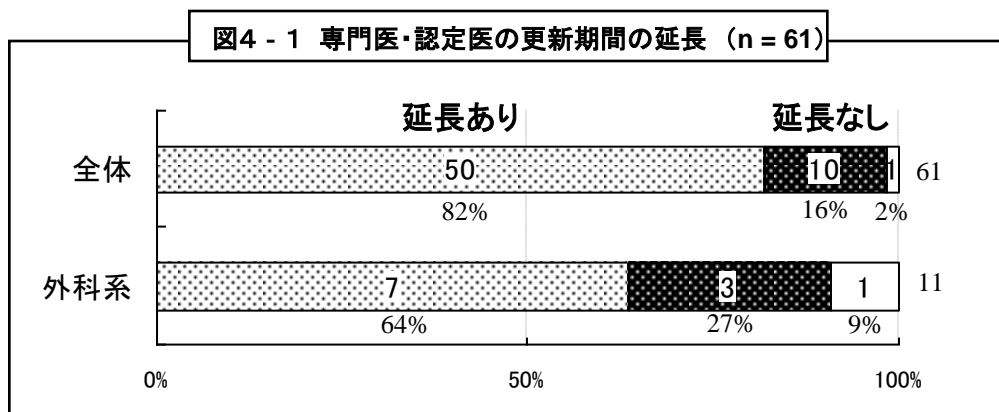


4. 専門医・認定医の更新期間の延長について

専門医・認定医の更新期間の延長には61学会が回答した。

専門医・認定医の更新期間の延長では、分科会全体では延長ありが82%であったが、外科系学会では延長ありが64%、延長無しが27%であった(図4-1)。

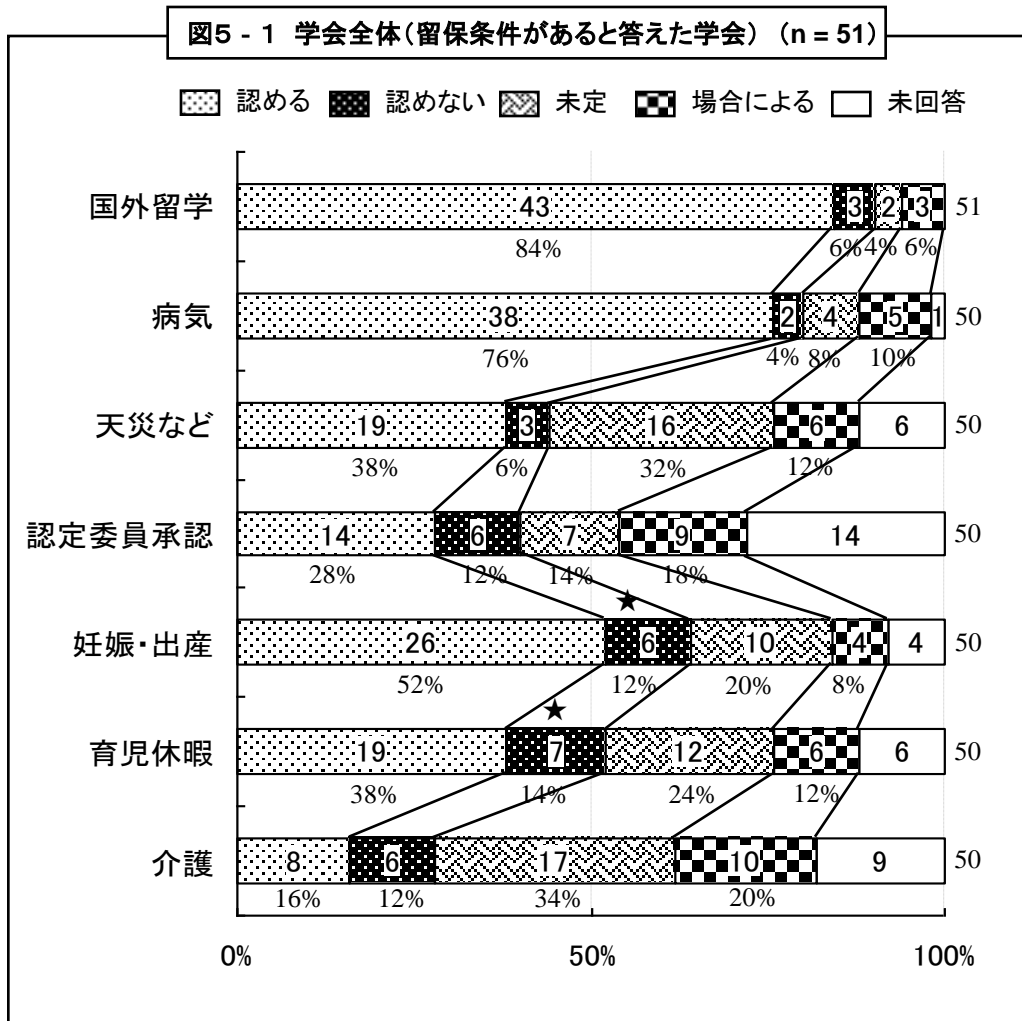
更新期間の延長に分科会全体では留保条件が9割にあり、外科系学会では全部の学会に留保条件があった(図4-2)。



5. 専門医・認定医の更新期間の留保条件について

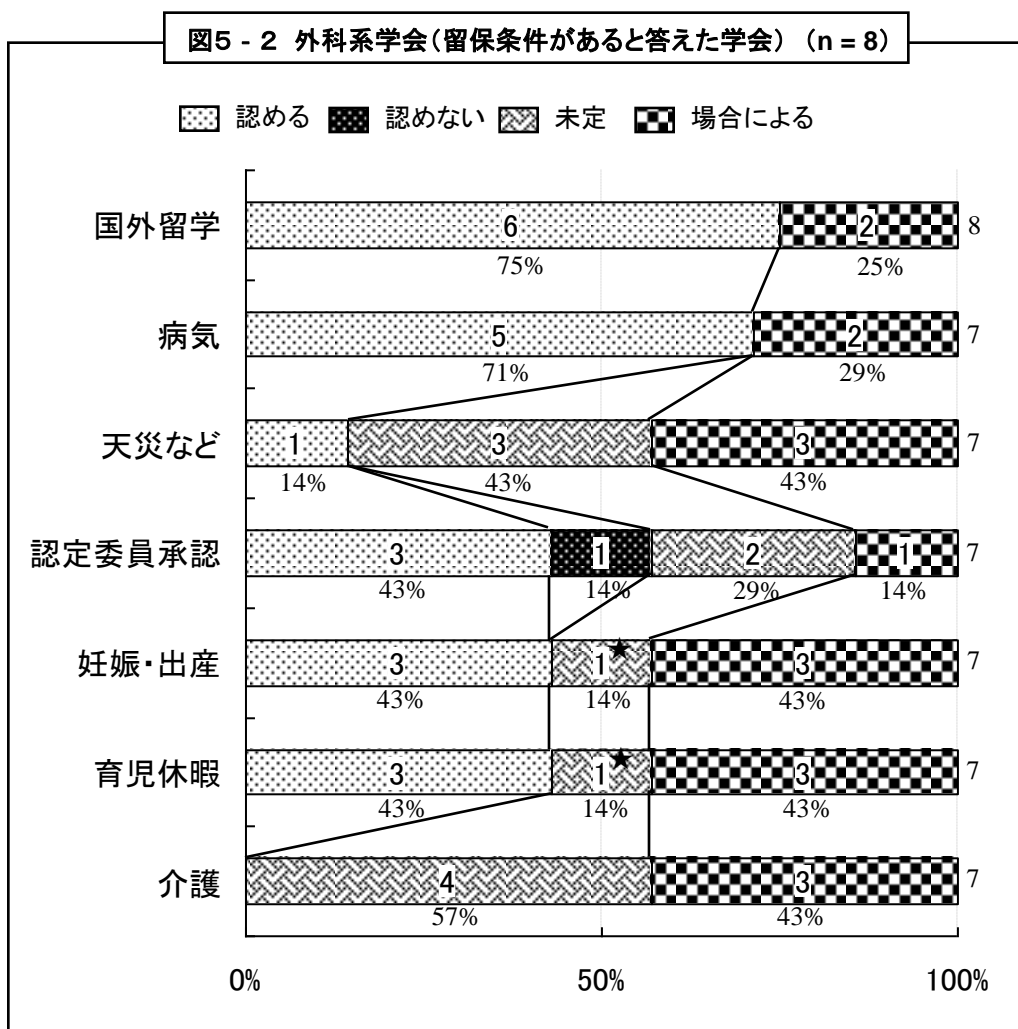
専門医・認定医資格更新期間の延長条件については51学会が回答した(図5-1)。

留保条件は分科会全体では国外留学を42学会(84%)が認めていた。ところが妊娠・出産は26学会(52%)、育児休暇19学会(38%)、介護8学会(16%)しか認めていなかった。



留保条件があると答えた外科系学会では国外留学を6学会(75%)が認めていたが、妊娠・出産と育児休暇を3学会しか認めておらず、妊娠・出産のライフイベントに対して3学会が「場合による」、1学会が「未定」と答えた(図5-2)。

外科系学会では介護を留保条件にしていた学会は皆無であった。



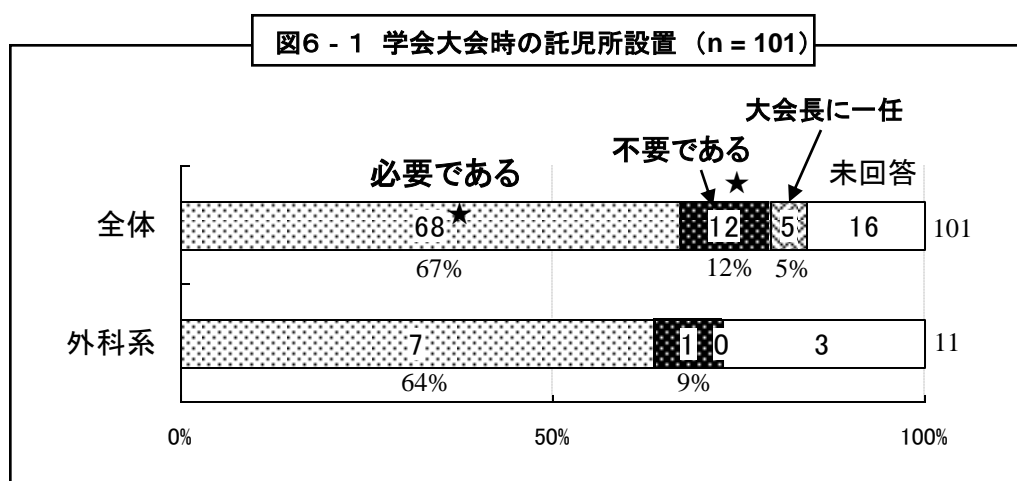
★妊娠・出産について「未定」と回答した学会

日本脳神経外科学会

6. 学会大会時の託児所設置について

学会大会時に託児所が必要であると答えたのは分科会全体と外科系学会ではほぼ同じ割合であった(図6-1)。

ところが医学会分科会では46%が設置したが、外科系学会は20%であった。外科系学会では必要とは答えても実際に設置するまでには至ることが少なかった(図6-2)。



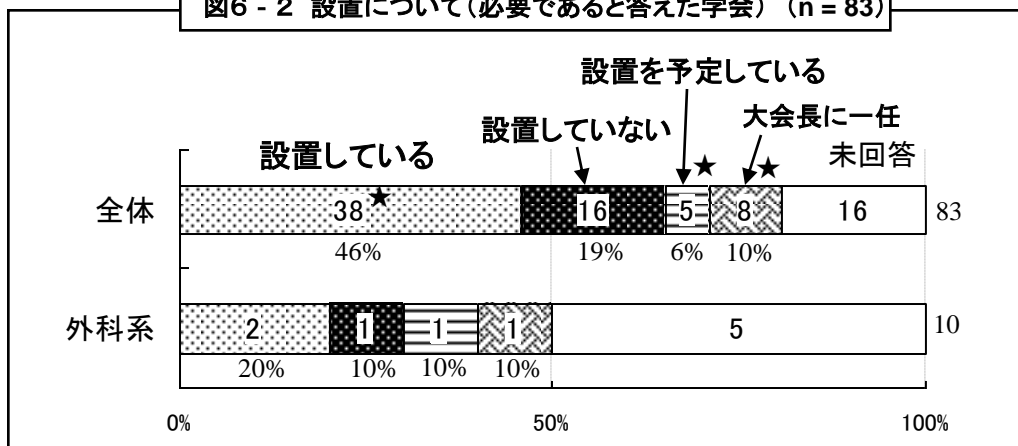
★「必要である」と回答した学会 (合計 68学会)

日本アレルギー学会, 日本医学教育学会, 日本医学放射線学会, 日本移植学会, 日本医真菌学会, 日本医療情報学会, 日本医療・病院管理学会, 日本栄養・食糧学会, 日本疫学会, 日本解剖学会, 日本核医学会, 日本癌学会, 日本眼科学会, 日本感染症学会, 日本肝臓学会, 日本癌治療学会, 日本救急医学会, 日本胸部外科学会, 日本外科学会, 日本血液学会, 日本結核病学会, 日本血管外科学会, 日本高血圧学会, 日本口腔科学会, 日本公衆衛生学会, 日本呼吸器学会, 日本産業衛生学会, 日本産科婦人科学会, 日本耳鼻咽喉科学会, 日本周産期・新生児医学会, 日本集中治療医学会, 日本循環器学会, 日本消化器外科学会, 日本消化器内視鏡学会, 日本小児科学会, 日本小児外科学会, 日本小児神経学会, 日本自律神経学会, 日本神経学会, 日本神経病理学会, 日本人工臓器学会, 日本腎臓学会, 日本人類遺伝学会, 日本生化学会, 日本整形外科学会, 日本生殖医学会, 日本生体医工学会, 日本生理学会, 日本大腸肛門病学会, 日本体力医学会, 日本超音波医学会, 日本透析医学会, 日本糖尿病学会, 日本動脈硬化学会, 日本東洋医学会, 日本内科学会, 日本乳癌学会, 日本脳神経外科学会, 日本ハンセン病学会, 日本泌尿器科学会, 日本皮膚科学会, 日本肥満学会, 日本麻酔科学会, 日本民族衛生学会, 日本免疫学会, 日本薬理学会, 日本臨床細胞学会, 日本老年医学会

★「不要である」と回答した学会 (合計 12学会)

日本医史学会, 日本医療機器学会, 日本衛生学会, 日本温泉気候物理医学会, 日本矯正医学会, 日本血栓止血学会, 日本交通医学会, 日本職業・災害医学会, 日本心血管外科学会, 日本農村医学会, 日本平滑筋学会, 日本リンパ網内系学会

図6 - 2 設置について(必要であると答えた学会) (n = 83)



※設置が不要と答えた学会において、「不要と考えているが設置している」の回答はなし

★「設置している」と回答した学会 (合計 38学会)

日本アレルギー学会, 日本医学教育学会, 日本医学放射線学会, 日本医療情報学会, 日本医療・病院管理学会, 日本栄養・食糧学会, 日本疫学会, 日本解剖学会, 日本癌学会, 日本眼科学会, 日本肝臓学会, 日本癌治療学会, 日本外科学会, 日本血液学会, 日本公衆衛生学会, 日本呼吸器学会, 日本産業衛生学会, 日本産科婦人科学会, 日本循環器学会, 日本消化器内視鏡学会, 日本小児科学会, 日本小児神経学会, 日本神経学会, 日本腎臓学会, 日本生化学会, 日本生理学会, 日本超音波医学会, 日本透析医学会, 日本糖尿病学会, 日本内科学会, 日本乳癌学会, 日本脳神経外科学会, 日本皮膚科学会, 日本麻酔科学会, 日本免疫学会, 日本薬理学会, 日本臨床細胞学会, 日本老年医学会

★「大会長に一任している」と答えた学会 (合計 8学会)

日本救急医学会, 日本集中治療医学会, 日本消化器病学会, 日本整形外科学会, 日本内分泌学会, 日本脳卒中学会, 日本病理学会, 日本リハビリテーション医学会

★「設置を予定している」と回答した学会 (合計 5学会)

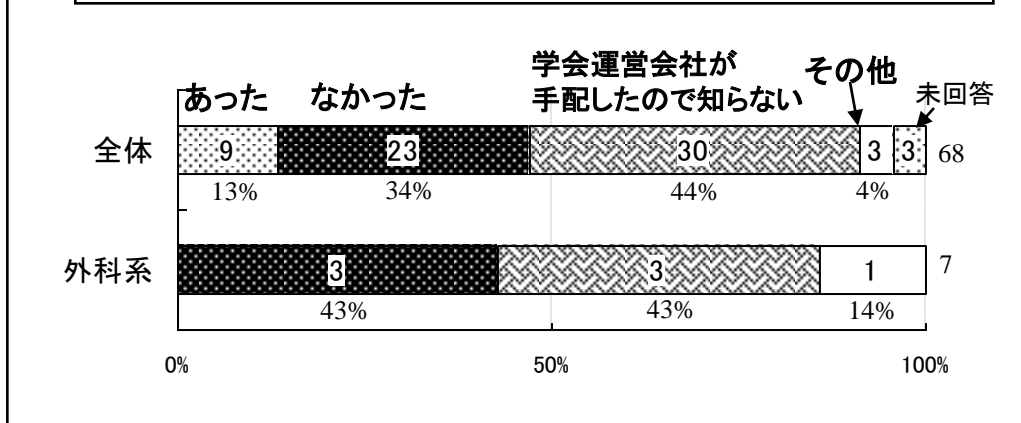
日本核医学会, 日本胸部外科学会, 日本口腔科学会, 日本人工臓器学会, 日本東洋医学会

注:本アンケートを実施したときには「必要無い」と回答したが、2008年秋に実際には設置した学会があった。

7. 託児所用のマニュアルについて

託児所の設置時のマニュアルに関しては学会運営会社が手配したため知らないか、無かったと8割が答えた。

図7 託児所用のマニュアルに(託児所が必要であると答えた学会) (n = 68)



8. 女性医師支援のための具体案

- ◆ 人材育成委員会にてアンケート調査中（日本病理学会）
- ◆ 日本脳神経外科女医会の活動に協力している。（日本脳神経外科学会）
- ◆ 男女共同参画推進小委員会の新設(2008.6～)（日本透析医学会）
- ◆ 学会としては現在女性医師を支援する具体的な対応策はない。（日本小児外科学会）
- ◆ 専門医のための取得単位をe-learningなどで可能にする。（日本小児神経学会）
- ◆ 現在のところ、会員からの要望のきかれなため特に対策はありません。（日本口腔科学会）
- ◆ 本会処遇改善委員会の中で女性医師の労働環境を改善するワーキングを立ち上げました。
（日本胸部外科学会）
- ◆ 救命救急センターにおける交代制勤務を推進し、女性医師（特に既婚者）でも働きやすい環境を整える。
（日本救急医学会）
- ◆ 今期から女性の常任理事が就任し、女性医師に対する処遇についても議論・検討することになっています。
（日本臨床検査医学会）
- ◆ 女性研究者のキャリアサポートを今期理事会の課題としています。具体的方策に取り組むのはこれからです。
（日本薬理学会）
- ◆ 本会でも女性医師の支援対策が必要であると迫られているため、日本眼科学会戦略企画会議で検討中である。
（日本眼科学会）
- ◆ 日本内視鏡外科学会においては、現在のところ本件に関する検討は行っておりません。今後の課題と考えております。
（日本内視鏡外科学会）
- ◆ 女性研究者奨励賞の設定(2007年度～)（日本循環器学会）
理事の女性枠設定(案)
評議員選出における女性会員への配慮(口頭依頼)
- ◆ 本学会の関連研究会、附置研究会ではないが、独自に学術集会期間中に女性医師の研究会を開催しているため、その会告コピーを添付します。
（日本消化器病学会）

- ◆ 本年7月の理事会にて、女性医師が働きやすい環境・職場を作ることを目的とした「女性医師に関わる委員会(仮称)」を立ち上げるべく、委員会再編を含め検討されました。現在、設立に向けて進行中です。
(日本形成外科学会)
- ◆ 女性医師の継続的就労支援委員会を平成18年度より設置し、卒後2～16年における就労状況や研修指導施設における院内保育施設の整備状況について調整を行った。今後、本会理事長に対し提言がなされる予定である。
(日本産科婦人科学会)
- ◆ 2007年第11回日本肝臓学会大会パネルディスカッションにおいて当学会における女性医師の現状と問題点が検討された。
2008年第12回日本肝臓学会大会パネルディスカッションにおいても女性医師の問題点が検討される予定。
(日本肝臓学会)
- ◆ 「女性泌尿器科医の会」を平成18年1月に学会内に設立して、毎年日本泌尿器科学会総会時に会合を開き、活躍のための情報交換、環境整備などに取り組んでいる。また日本泌尿器科学会としても、日本泌尿器科学会総会のなかで『女性泌尿器科医の役割とキャリアパス』(例)などのシンポジウムやパネルを組み、女性医師が泌尿器科医を続けていくために必要なことは何か、うまくいっている施設ではどのような努力をしているか、女性医師側からは何を支援してもらいたいと考えているのか、などをロールモデルや実例をあげながら討論する場を設けている。今後の具体案としては、女性泌尿器科医の中の参加希望者に、メーリングリストを用いて意見交換ができるようなシステムを整えようと考えているところである。
(日本泌尿器科学会)
- ◆ 本学会の評議員は選挙による選任ではなく、会員歴や研究業績等による審査制をとっており、論文執筆・発表などの活動や学会参加等の単位の合計が一定水準を満たしていれば就任することができる。よって形式的には性別のみならず、医師、研究者、技士などの職種に関係なく評議員に就任する機会が与えられている。(女性に特化した対策ではないが、広く平等性を確保できるような仕組みを志向している)
(日本人工臓器学会)
- ◆ 乳癌専門施設では、外来診療を受ける患者が増加の一途をたどり、人手不足が深刻になってきている。そこで外来診療のみのパート医師としての女医の雇用の道がある。本学会では、パート女医求人情報とパート勤務希望女医を募り、パート女医求人情報をホームページに掲載し、そこに本学会に希望を出している女医を紹介するシステムを検討中である。
(日本乳癌学会)
- ◆ 外科学会と同様、当学会(日本呼吸器学会)においても「将来計画委員会」内に女性医師支援のための小委員会を設置予定。今後、提言等をまとめていく予定。今後、本テーマに関しては他学会間の共通認識として連携も必要と考えます。
(日本呼吸器学会)
- ◆ 女性外科医師支援委員会で検討中であり、昨年は代議員と一般会員にアンケート調査を行って問題抽出を試みた。
今年と来年の定期学術集会時に関連するセッションをもち、今後発展させようとしています。
(日本外科学会)

- ◆ 2006年12月に学会の企画委員会の下部委員会組織として、「日本腎臓学会男女共同参画委員会」を立ち上げ、活動を開始した。(設立時委員数:10名(女性委員8名、男性委員2名)、男性幹事1名。現在委員数:12名(女性委員9名、男性委員3名)、男性幹事1名。 (日本腎臓学会)

現在までに、以下のミッションとゴールを定めて事業をおこなっており、引き続き更なる展開を計画中。

◎ミッション:より多くの医師が、個々の仕事・生活の多様性を尊重しつつ、腎臓学への取り組みを通じて男女共同で支える豊かな医療を推進する。

◎ゴール1. 次世代の腎臓学の担い手を育てるため、増えている女性医師への啓発、広報をおこなって専門医志望者の増加をうながし、ゆとりある医療、研究の場を作る。

1. 各総会におけるシンポジウムの開催
2. 部会におけるパネルディスカッションの開催
3. 学会HPの開設
4. 学会での相談コーナー、展示ブースの開設
5. 研修セミナーへの参加

◎ゴール2. 各部門のリーダーとなる医師を性差なく押上げ、男女共同して腎臓学の医療、研究、教育の充実をはかる。

1. 法人評議員、学術評議員、理事への立候補と推薦。
2. 学会内委員会の委員への女性評議員の参画

◎ゴール3. あらゆる生活の局面で、腎臓学の高い専門性を維持してキャリアを途絶えさせないシステムを構築する。

1. 認定医・専門医制度の改訂(上記参照)
2. 学会教育認定施設への現場復帰プロジェクト施行状況アンケートの実施。
3. 復帰プロジェクトの広報開始

◎ゴール4. 職場環境、家庭環境に応じた参加しやすい学会運営を目指す。

1. 総会、各部会での託児所の常設化

◎ゴール5. 成長途上の医師が腎臓病と取り組む上での問題に直面した際、孤立を防ぎキャリア継続と向上への意欲をサポートする。

1. 女性会員へのアンケート実施
2. 学会での相談コーナー設置
3. 研修セミナーでの相談コーナー設置

9. まとめ

女性学会員数、女性医師数が把握されていない学会があり、実態の把握が困難であった。

女性の評議員・理事の選任率が極めて低く、女性医師の会員率が高い学会でも選任率は低かった。意志決定機関に女性が少ないことは女性の視点から見た問題点や、要求事項の把握がなされにくいことが考えられた。

女性評議員数が男女共同参画事業で目指している30%を達成している学会は無かった。評議員、役員、編集委員にしめる女性医師の割合は少なく、特に、外科系学会では3つ共に女性がいない学会が半数あった。内閣府が男女共同参画基本計画(第2次)に指導的地位に女性がしめる割合が30%程度になることとしているが、学会の運営は学会自らの判断により行うため、その判断の結果がこの数字になって現れており、理想とは大幅にかけ離れている現実が見える。

今後、専門医・認定医資格が雇用・昇進の条件になる可能性がでてくるが、女性医師の専門医・認定医の取得率は大部分の学会で少なく、外科系学会ではさらに少なかった。資格更新期間の延長条件に妊娠・出産、育児休業、介護が含まれていない、学会託児所設置が低率であることなどに対し改善が必要であることが示唆された。多くの女性医師が学会の資格を取得し、継続できることを希望する。日本医学会分科会の各学会では、専門医・認定医の更新期間の留保条件には、必ず妊娠・出産・育児および介護などの“ライフイベント”を含めることを提案したい。

日本は2008年度版のGlobal Gender Gap Reportでは不名誉にも98位であった。日本では女性労働者の出産・育児などの支援体制がおくれている。社会が女性労働者の就業をどれだけ支援しているかで就業率がきまるが、このことは女性医師が増加している医療業界にもあてはまり、無策では取り残される。学会が生き残るためには性差を超えての優秀な人材の活用が不可欠であり、女性に活動の場を与え、能力を正に評価できる環境が不可欠である。

日本医学会分科会からは支援の具体案が種々だされた。今後の発展に期待したい。

10. 回答協力学会名(五十音順)

学会名	学会名	学会名
1 日本アレルギー学会	35 日本口腔科学会	69 日本体力医学会
2 日本医学教育学会	36 日本公衆衛生学会	70 日本超音波医学会
3 日本医学放射線学会	37 日本交通医学会	71 日本透析医学会
4 日本医史学会	38 日本呼吸器学会	72 日本糖尿病学会
5 日本移植学会	39 日本呼吸器外科学会	73 日本動脈硬化学会
6 日本医真菌学会	40 日本細菌学会	74 日本東洋医学会
7 日本医療機器学会	41 日本産業衛生学会	75 日本内科学会
8 日本医療情報学会	42 日本産科婦人科学会	76 日本内視鏡外科学会
9 日本医療・病院管理学会	43 日本耳鼻咽喉科学会	77 日本内分泌学会
10 日本ウイルス学会	44 日本周産期・新生児医学会	78 日本乳癌学会
11 日本衛生学会	45 日本集中治療医学会	79 日本脳神経外科学会
12 日本衛生動物学会	46 日本循環器学会	80 日本脳卒中学会
13 日本栄養・食糧学会	47 日本消化器病学会	81 日本農村医学会
14 日本疫学会	48 日本消化器外科学会	82 日本ハンセン病学会
15 日本温泉気候物理医学会	49 日本消化器内視鏡学会	83 日本泌尿器科学会
16 日本解剖学会	50 日本小児科学会	84 日本皮膚科学会
17 日本化学療法学会	51 日本小児外科学会	85 日本肥満学会
18 日本核医学会	52 日本小児神経学会	86 日本病理学会
19 日本癌学会	53 日本職業・災害医学会	87 日本平滑筋学会
20 日本眼科学会	54 日本自律神経学会	88 日本法医学会
21 日本感染症学会	55 日本神経学会	89 日本麻酔科学会
22 日本肝臓学会	56 日本神経病理学会	90 日本脈管学会
23 日本癌治療学会	57 日本人工臓器学会	91 日本民族衛生学会
24 日本気管食道科学会	58 日本心身医学会	92 日本免疫学会
25 日本救急医学会	59 日本腎臓学会	93 日本薬理学会
26 日本矯正医学会	60 日本心臓血管外科学会	94 日本輸血・細胞治療学会
27 日本胸部外科学会	61 日本人類遺伝学会	95 日本リウマチ学会
28 日本形成外科学会	62 日本生化学会	96 日本リハビリテーション医学会
29 日本外科学会	63 日本整形外科学会	97 日本臨床検査医学会
30 日本血液学会	64 日本生殖医学会	98 日本臨床細胞学会
31 日本結核病学会	65 日本生体医工学会	99 日本臨床薬理学会
32 日本血管外科学会	66 日本生理学会	100 日本リンパ網内系学会
33 日本血栓止血学会	67 日本先天異常学会	101 日本老年医学会
34 日本高血圧学会	68 日本大腸肛門病学会	

表1 女性医師数・割合

	会 員			医 師			新入会医師		
	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本アレルギー学会	9,181	2,056	22%	8,291	1,838	22%	424	126	30%
日本医学教育学会	2,204	450	20%						
日本医学放射線学会	8,239	1,619	20%	7,687	1,581	21%	277	90	32%
日本医史学会	843	110	13%	500	10	2%	13	0	0%
日本移植学会	2,600	100	4%	2,400	80	3%	100	10	10%
日本医真菌学会	1,165	329	28%	1,165	329	28%	51	13	25%
日本医療機器学会	3,200	1,920	60%	300	10	3%	30	2	7%
日本医療情報学会	3,240								
日本医療・病院管理学会	2,200								
日本ウイルス学会	3,000	610	20%						
日本衛生学会	2,081	539	26%						
日本衛生動物学会	480	40	8%	20	3	15%	0	0	0%
日本栄養・食糧学会	3,432	1,572	46%	148	12	8%	4	1	25%
日本疫学会	1,405	454	32%						
日本温泉気候物理医学会	1,911	201	11%	1,682	159	9%	96	13	14%
日本解剖学会	2,475	414	17%	1,600	320	20%	80	20	25%
日本化学療法学会	4,500	670	15%	3,150	320	10%	408	49	12%
日本核医学会	3,490	630	18%	2,435	553	23%	224	52	23%
日本癌学会	15,798	1,996	13%				872	233	27%
日本眼科学会	14,072	5,669	40%	13,879	5,597	40%	281	125	44%
日本感染症学会	10,253	1,900	19%	8,500	1,350	16%	780	150	19%
日本肝臓学会	10,667	1,108	10%	10,476	1,064	10%	444	66	15%
日本癌治療学会	16,587	1,341	8%	13,500	1,200	9%	1,061	124	12%
日本気管食道科学会	3,244	300	9%	3,234	300	9%	128	11	9%
日本救急医学会	10,784	1,045	10%	10,480	934	9%	882	137	16%
日本矯正医学会	800	135	17%	313	72	23%	45	7	16%
日本胸部外科学会	7,552	259	3%	7,540	259	3%	203	23	11%
日本形成外科学会	4,400	970	22%	4,400	970	22%	179	79	44%
日本外科学会	38,079	1,889	5%	38,079	1,889	5%	910	203	22%
日本血液学会	8,562	1,244	15%	8,100	1,180	15%	358	91	25%
日本結核病学会	2,900			2,200			248		
日本血管外科学会	3,056	103	3%	3,056	103	3%	212	17	8%
日本血栓止血学会	1,200	147	12%	820	65	8%	32	13	41%
日本高血圧学会	2,957	275	9%	2,950	270	9%			
日本口腔科学会	3,500	600	17%				245	36	15%
日本公衆衛生学会	8,000	4,000	50%	4,800					
日本交通医学会	822	121	15%	622	84	14%	14	2	14%
日本呼吸器学会	10,870	1,800	17%	10,000	1,780	18%	500	140	28%
日本呼吸器外科学会	3,279			3,279			134	22	16%
日本細菌学会	3,300								
日本産業衛生学会	7,472	3,439	46%	3,772	762	20%	255	63	25%
日本産科婦人科学会	15,369	3,899	25%				335	202	60%
日本耳鼻咽喉科学会	10,651	2,215	21%	10,566	2,215	21%	189		
日本周産期・新生児医学会	6,118	1,697	28%	6,019	1,645	27%	332	142	43%
日本集中治療医学会	6,300			4,513			405		
日本循環器学会	21,033	2,773	13%	21,033	2,773	13%	954	181	19%

表1 女性医師数・割合

	会 員			医 師			新入会医師		
	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本消化器病学会	30,742	3,073	10%	30,205	3,060	10%	1,035	180	17%
日本消化器外科学会	20,868	774	4%	20,868	774	4%	875	114	13%
日本消化器内視鏡学会	31,769	3,719	12%	31,737	3,715	12%	1,226	253	21%
日本小児科学会	19,310	6,416	33%	19,054	6,342	33%	705	274	39%
日本小児外科学会	2,297	222	10%	2,297	222	10%	89	16	18%
日本小児神経学会	3,390	1,284	38%	3,249	1,230	38%	208	90	43%
日本職業・災害医学会	2,000	688	34%	1,300	63	5%	100	22	22%
日本自律神経学会	1,200	150	13%	750	102	14%	15	4	27%
日本神経学会	8,571	1,603	19%	8,522	1,601	19%	182	26	14%
日本神経病理学会	1,235	169	14%	1,220	156	13%	26	9	35%
日本人工臓器学会	2,750	128	5%		20		140	1	1%
日本心身医学会	3,780	1,219	32%	2,780	589	21%	270	45	17%
日本腎臓学会	8,360	1,671	20%	8,020	1,560	19%	416	145	35%
日本心臓血管外科学会	4,049	151	4%	4,032	150	4%	152	10	7%
日本人類遺伝学会	2,678	817	31%	1,750	395	23%	117	40	34%
日本生化学会	10,337	2,151	21%						
日本整形外科学会	22,292	953	4%	22,292	953	4%	554	55	10%
日本生殖医学会	5,064	1,570	31%	3,813	831	22%	190	108	57%
日本生体医工学会	2,900	100	3%	1,000	50	5%	20	10	50%
日本生理学会	3,000	490	16%	230	16	7%	7	0	0%
日本先天異常学会	808	162	20%	302	69	23%	37	17	46%
日本大腸肛門病学会	6,547	333	5%	6,528	319	5%	354	38	11%
日本体力医学会	4,900	900	18%	500	50	10%	11	3	27%
日本超音波医学会	13,519	4,630	34%	7,145	1,171	16%	315	89	28%
日本透析医学会	10,898	1,791	16%	10,173	1,567	15%	507	145	29%
日本糖尿病学会	16,041	4,703	29%	13,654	3,134	23%	752	305	41%
日本動脈硬化学会	2,317								
日本東洋医学会	8,500			7,100					
日本内科学会	96,541	18,093	19%	96,541	18,093	19%	3,245	954	29%
日本内視鏡外科学会	9,426	342	4%	9,405	302	3%	782	56	7%
日本内分泌学会	6,605	1,387	21%	6,605	1,387	21%			
日本乳癌学会	8,612	3,000	35%	8,072	2,000	25%	552	168	30%
日本脳神経外科学会	8,435	384	5%	8,384	379	5%	177	29	16%
日本脳卒中学会	5,000			5,000			200		
日本農村医学会	4,531	473	10%	4,255	400	9%	1,150		
日本ハンセン病学会	300	57	19%	100	21	21%	6	0	0%
日本泌尿器科学会	7,677	314	4%	7,677	309	4%	191	36	19%
日本皮膚科学会	11,201	4,634	41%	9,521	3,939	41%	378		
日本肥満学会	2,339	700	30%	1,476	150	10%	124	11	9%
日本病理学会	4,081	771	19%	3,364	608	18%	128	43	34%
日本平滑筋学会	456	50	11%	456	50	11%	25		
日本法医学会	1,328	243	18%	544	60	11%	20	7	35%
日本麻酔科学会	10,537	3,343	32%	10,537	3,343	32%	617	299	48%
日本脈管学会	2,260	64	3%	2,220	64	3%	150		
日本民族衛生学会	700								
日本免疫学会	5,500	1,500	27%						

表1 女性医師数・割合

	会 員			医 師			新入会医師		
	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本薬理学会	5,600			1,000			80	20	25%
日本輸血・細胞治療学会	4,000			1,000	50	5%	103	11	11%
日本リウマチ学会	9,129	1,105	12%	8,907	1,068	12%	580	121	21%
日本リハビリテーション医学会	9,894	1,157	12%	9,694	1,118	12%	428	81	19%
日本臨床検査医学会	2,700	600	22%	1,400	200	14%	290	100	34%
日本臨床細胞学会	10,801	4,491	42%	4,294	897	21%	173		
日本臨床薬理学会	2,837								
日本リンパ網内系学会	757	88	12%	702	87	12%	26	8	31%
日本老年医学会	6,226	1,032	17%	5,914	800	14%	274	60	22%

表2 女性医師専門医・認定医

	会 員			医 師			専 門 医			認 定 医		
	全体	女性	女性割合 (%)	全体	女性	女性割合 (%)	全体	女性	女性取得率 (%)	全体	女性	女性取得率 (%)
〈専門医・認定医〉												
日本化学療法学会	4,500	670	15%	3,150	320	10%	27	2	1%	8	1	0.3%
日本核医学会	3,490	630	18%	2,435	553	23%	1,002	83	41%	1,082	137	44%
日本救急医学会	10,784	1,045	10%	10,480	934	9%	2,765	129	26%	77	4	1%
日本胸部外科学会	7,552	259	3%	7,540	259	3%	2,001	22	27%	3,714	43	49%
日本外科学会	38,079	1,889	5%	38,079	1,889	5%	17,093	647	45%	28,079	1,070	74%
日本小児科学会	19,310	6,416	33%	19,054	6,342	33%	12,959	4,068	68%	222	102	1%
日本心身医学会	3,780	1,219	32%	2,780	589	21%	563	107	20%	182	27	7%
日本人類遺伝学会	2,678	817	31%	1,750	395	23%				57	7	3%
日本東洋医学会	8,500			7,100			2,200		31%	140		2%
日本内科学会	96,541	18,093	19%	96,541	18,093	19%	13,792	2,350	14%	60,931	10,549	63%
日本乳癌学会	8,612	3,000	35%	8,072	2,000	25%	771	74	10%	1,294		16%
日本麻酔科学会	10,537	3,343	32%	10,537	3,343	32%	2,921	1,069	28%	1,076	465	10%
日本脈管学会	2,260	64	3%	2,220	64	3%						
日本リハビリテーション医学会	9,894	1,157	12%	9,694	1,118	12%	1,489	216	15%	4,112	399	42%
〈専門医〉												
日本アレルギー学会	9,181	2,056	22%	8,291	1,838	22%	2,776	504	33%			27%
日本医学放射線学会	8,239	1,619	20%	7,687	1,581	21%	5,044	934	66%			59%
日本温泉気候物理医学会	1,911	201	11%	1,682	159	9%	219	18	13%			11%
日本眼科学会	14,072	5,669	40%	13,879	5,597	40%	10,102	3,999	73%			71%
日本感染症学会	10,253	1,900	19%	8,500	1,350	16%	875	80	10%			6%
日本肝臓学会	10,667	1,108	10%	10,476	1,064	10%	3,938	254	38%			24%
日本気管食道科学会	3,244	300	9%	3,234	300	9%	550	52	17%			17%
日本形成外科学会	4,400	970	22%	4,400	970	22%	1,649	293	37%			30%
日本血液学会	8,562	1,244	15%	8,100	1,180	15%	2,689	327	33%			28%
日本血管外科学会	3,056	103	3%	3,056	103	3%						
日本呼吸器学会	10,870	1,800	17%	10,000	1,780	18%	3,821	413	38%			23%
日本呼吸器外科学会	3,279			3,279			1,312	21	40%			

表2 女性医師専門医・認定医

	会 員		医 師		専 門 医		認 定 医	
	全 体	女 性	全 体	女 性	全 体	女 性	全 体	女 性
	数	割合 (%)	数	割合 (%)	数	割合 (%)	数	割合 (%)
<専門医>								
日本産業衛生学会	7,472	46%	3,772	20%	360	10%	68	9%
日本産科婦人科学会	15,369	25%	11,471	2,589	11,471	2,589	68	9%
日本耳鼻咽喉科学会	10,651	21%	10,566	2,215	8,469	1,625	1,625	73%
日本周産期・新生児医学会	6,118	28%	6,019	1,645	76	20	20	1%
日本集中治療医学会	6,300		4,513		820			18%
日本循環器学会	21,033	13%	21,033	2,773	10,942	864	864	31%
日本消化器病学会	30,742	10%	30,205	3,060	15,388	1,193	1,193	39%
日本消化器外科学会	20,868	4%	20,868	774	4,238	106	106	14%
日本消化器内視鏡学会	31,769	12%	31,737	3,715	15,174	1,365	1,365	37%
日本小児外科学会	2,297	10%	2,297	222	536	38	38	17%
日本小児神経学会	3,390	38%	3,249	1,230	1,027	330	330	27%
日本神経学会	8,571	19%	8,522	1,601	4,336	793	793	50%
日本腎臓学会	8,360	20%	8,020	1,560	2,972	424	424	27%
日本心臓血管外科学会	4,049	4%	4,032	150	1,937	23	23	15%
日本整形外科学会	22,292	4%	22,292	953	16,418	505	505	53%
日本生殖医学会	5,064	31%	3,813	831	336	23	23	3%
日本大腸肛門病学会	6,547	5%	6,528	319	1,606	24	24	8%
日本超音波医学会	13,519	34%	7,145	1,171	1,627	182	182	16%
日本透視医学会	10,898	16%	10,173	1,567	4,161	526	526	34%
日本糖尿病学会	16,041	29%	13,654	3,134	3,703	763	763	24%
日本内分泌学会	6,605	21%	6,605	1,387	1,741	201	201	14%
日本脳神経外科学会	8,435	5%	8,384	379	6,479	183	183	48%
日本脳卒中学会	5,000		5,000		2,500			50%
日本泌尿器科学会	7,677	4%	7,677	309	6,215	183	183	59%
日本皮膚科学会	11,201	41%	9,521	3,939	5,412	2,112	2,112	54%
日本病理学会	4,081	19%	3,364	608	2,052	320	320	53%
日本リウマチ学会	9,129	12%	8,907	1,068	3,915	327	327	31%

表2 女性医師専門医・認定医

	会 員			医 師			専 門 医			認 定 医		
	全体	女性	女性割合 (%)	全体	女性	女性割合 (%)	全体	女性	女性取得率 (%)	全体	女性	女性取得率 (%)
〈専門医〉												
日本臨床検査医学会	2,700	600	22%	1,400	200	14%	650	60	46%	30%		
日本臨床細胞学会	10,801	4,491	42%	4,294	897	21%	2,293	357	53%	40%		
日本老年医学会	6,226	1,032	17%	5,914	800	14%	1,486	125	25%	16%		
〈認定医〉												
日本医真菌学会	1,165	329	28%	1,165	329	28%				80	9	7%
日本職業・災害医学学会	2,000	688	34%	1,300	63	5%				129	5	10%
日本内視鏡外科学会	9,426	342	4%	9,405	302	3%				916	10	10%
日本法医学会	1,328	243	18%	544	60	11%				213	15	39%
日本輸血・細胞治療学会	4,000			1,000	50	5%				320	32	32%

表3 女性評議員・役員・編集委員

	女性 会員 (%)	女性 医師 (%)	評 議 員			役 員			編 集 委 員		
			全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本アレルギー学会	22%	22%	349	27	8%	23	0	0%	12	1	8%
日本医学教育学会	20%		150	19	13%	25	2	8%	12	1	8%
日本医学放射線学会	20%	21%	250	11	4%		0	0%	36	2	6%
日本医史学会	13%	2%				76	4	5%	9	0	0%
日本移植学会	4%	3%	186	6	3%	21	0	0%	11	0	0%
日本医真菌学会	28%	28%	102	25	25%	14	1	7%	8	2	25%
日本医療機器学会	60%	3%	120	10	8%	27	2	7%	16	2	13%
日本医療情報学会			130	7	5%	22	2	9%	21	2	10%
日本医療・病院管理学会			96	17	18%				8	2	25%
日本ウイルス学会	20%		216	10	5%	31	1	3%	28	1	4%
日本衛生学会	26%		427	50	12%	16	1	6%	22	1	5%
日本衛生動物学会	8%	15%	24	1	4%	3	0	0%	23	1	4%
日本栄養・食糧学会	46%	8%	150	31	21%	22	1	5%	19	1	5%
日本疫学会	32%		209	22	11%	22	2	9%	19	3	16%
日本温泉気候物理医学会	11%	9%	100	4	4%	15	1	7%	6	0	0%
日本解剖学会	17%	20%	403	39	10%	19	1	5%	22	1	5%
日本化学療法学会	15%	10%	440	21	5%	20	0	0%		2	
日本核医学会	18%	23%	180	8	4%	19	2	11%	11	2	18%
日本癌学会	13%		380	13	3%	21	0	0%	5	0	0%
日本眼科学会	40%	40%	108	5	5%	18	3	17%	11	1	9%
日本感染症学会	19%	16%	602	37	6%	18	1	6%	16	2	13%
日本肝臓学会	10%	10%	200	5	3%	18	0	0%	17	1	6%
日本癌治療学会	8%	9%	266	1	0%	23	0	0%	29	0	0%
日本気管食道科学会	9%	9%	195	3	2%				12	0	0%
日本救急医学会	10%	9%	216	3	1%	15	0	0%	15	0	0%
日本矯正医学会	17%	23%	35	1	3%	13	0	0%	4	0	0%
日本胸部外科学会	3%	3%	300	0	0%	21	0	0%	23	0	0%
日本形成外科学会	22%	22%	150	3	2%	17	1	6%	25	0	0%
日本外科学会	5%	5%	281	0	0%	16	0	0%	17	1	6%
日本血液学会	15%	15%	789	37	5%	29	1	3%	28	1	4%
日本結核病学会			200	13	7%	32	3	9%	16	3	19%
日本血管外科学会	3%	3%	163				0	0%	20	0	0%
日本血栓止血学会	12%	8%	212	6	3%	22	0	0%	13	1	8%
日本高血圧学会	9%	9%	282	7	2%	20	0	0%	3	2	67%
日本口腔科学会	17%		207	0	0%	29	0	0%	31	1	3%
日本公衆衛生学会	50%		273	73	27%	32	6	19%	16	6	38%
日本交通医学会	15%	14%	120	13	11%	12	0	0%	17	2	12%
日本呼吸器学会	17%	18%	400	9	2%	20	0	0%	27	0	0%
日本呼吸器外科学会			462	0	0%	16	0	0%	62	0	0%
日本細菌学会			154	11	7%	19	1	5%	11	1	9%
日本産業衛生学会	46%	20%	599	172	29%	32	5	16%	41	6	15%
日本産科婦人科学会	25%		368	9	2%	26	0	0%	12	1	8%
日本耳鼻咽喉科学会	21%	21%	295	8	3%	21	0	0%	7	0	0%
日本周産期・新生児医学会	28%	27%	263	16	6%	120	2	2%	2	0	0%
日本集中治療医学会			218	0	0%		0	0%	15	0	0%
日本循環器学会	13%	13%	250	3	1%	22	0	0%	32	1	3%
日本消化器病学会	10%	10%	1,018	18	2%	23	0	0%	49	3	6%
日本消化器外科学会	4%	4%	350	0	0%	18	0	0%	20	0	0%
日本消化器内視鏡学会	12%	12%	795	15	2%	16	0	0%	18	0	0%
日本小児科学会	33%	33%	597	52	9%	20	1	5%	18	2	11%

表3 女性評議員・役員・編集委員

	女性 会員 (%)	女性 医師 (%)	評 議 員			役 員			編 集 委 員		
			全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本小児外科学会	10%	10%	343	9	3%	12	0	0%	12	0	0%
日本小児神経学会	38%	38%	220	21	10%	19	4	21%	72	8	11%
日本職業・災害医学会	34%	5%	276	8	3%	25	0	0%	25	1	4%
日本自律神経学会	13%	14%	299	22	7%	36	2	6%			
日本神経学会	19%	19%	600	24	4%	20	1	5%	9	0	0%
日本神経病理学会	14%	13%	221	18	8%	22	0	0%	54	1	2%
日本人工臓器学会	5%		192	3	2%	14	1	7%	13	1	8%
日本心身医学会	32%	21%	675	149	22%	22	1	5%	38	2	5%
日本腎臓学会	20%	19%	199	7	4%	20	1	5%	22	1	5%
日本心臓血管外科学会	4%	4%	157	0	0%	20	0	0%	18	0	0%
日本人類遺伝学会	31%	23%	153	15	10%	12	1	8%	51	3	6%
日本生化学会	21%		998	87	9%	24	1	4%	33	5	15%
日本整形外科学会	4%	4%	249	0	0%	23	0	0%	10	0	0%
日本生殖医学会	31%	22%	105	4	4%	20	0	0%	19	0	0%
日本生体医工学会	3%	5%	167	7	4%	20	0	0%	45	0	0%
日本生理学会	16%	7%	1,064	117	11%	37	4	11%	63	9	14%
日本先天異常学会	20%	23%	90	7	8%	14	0	0%	34	3	9%
日本大腸肛門病学会	5%	5%	314	0	0%	15	0	0%	14	0	0%
日本体力医学会	18%	10%	504	27	5%	27	1	4%	18	0	0%
日本超音波医学会	34%	16%	180	16	9%	20	1	5%	15	2	13%
日本透析医学会	16%	15%	193	10	5%	20	0	0%	38	3	8%
日本糖尿病学会	29%	23%	612	39	6%	19	1	5%	23	0	0%
日本動脈硬化学会			414			23	1	4%	12	0	0%
日本東洋医学会			200	7	4%	22	0	0%	25	1	4%
日本内科学会	19%	19%	420	3	1%	24	0	0%	25	0	0%
日本内視鏡外科学会	4%	3%	573	3	1%	22	0	0%	7	0	0%
日本内分泌学会	21%	21%	141	6	4%	22	1	5%	20	0	0%
日本乳癌学会	35%	25%	403	42	10%	21	0	0%	13	1	8%
日本脳神経外科学会	5%	5%	298	2	1%	23	0	0%	28	0	0%
日本脳卒中学会			400			58	0	0%	60	0	0%
日本農村医学会	10%	9%	137	1	1%	28	0	0%	11	0	0%
日本ハンセン病学会	19%	21%	23	3	13%	3	0	0%	6	0	0%
日本泌尿器科学会	4%	4%	160	1	1%	20	0	0%	15	0	0%
日本皮膚科学会	41%	41%	250	27	11%	16	1	6%	22	0	0%
日本肥満学会	30%	10%	251	17	7%	16	0	0%	10	0	0%
日本病理学会	19%	18%				21	1	5%	183	13	7%
日本平滑筋学会	11%	11%	90	2	2%	18	1	6%	30	0	0%
日本法医学会	18%	11%	181	17	9%	14	0	0%	8	0	0%
日本麻酔科学会	32%	32%	245	10	4%	20	0	0%	15	0	0%
日本脈管学会	3%	3%	337	3	1%	24	0	0%	7	0	0%
日本民族衛生学会			150			24	3	13%	12	4	33%
日本免疫学会	27%		215	13	6%	19	1	5%			
日本薬理学会			108	6	6%	22	1	5%	22	1	5%
日本輸血・細胞治療学会		5%	208	25	12%	26	0	0%	11	0	0%
日本リウマチ学会	12%	12%	775	42	5%	18	1	6%	12	0	0%
日本リハビリテーション医学会	12%	12%	199	15	8%	18	0	0%	11	1	9%
日本臨床検査医学会	22%	14%	290	20	7%	21	1	5%	18	0	0%
日本臨床細胞学会	42%	21%	301	28	9%	39	0	0%	11	0	0%
日本臨床薬理学会			193			14					
日本リンパ網内系学会	12%	12%	215	7	3%	17	0	0%	10	1	10%
日本老年医学会	17%	14%	644	29	5%	23	0	0%	21	0	0%

1. 貴学会名()
2. 最近の貴学会の会員数()人、うち女性会員数()人。
3. 貴学会の会員のうち医師数()人、うち女性医師数()人。
4. 2007年度入会の医師数()人、うち女性医師数()人。
5. 貴学会の評(代)議員数()人、役員数()人
うち女性評(代)議員数()人、女性の役員数()人
6. 貴学会は専門医・認定医の制度がありますか。当てはまる項目に○を
ある()→専門医()、認定医()
ない()
7. 6で、「ある」と答えた学会にうかがいます。人数をお答えください。
専門医数()人、認定医数()人
うち女性の専門医数()人、女性の認定医数()人
8. 専門医・認定更新期間の延長に関して当てはまる項目に○を
延長あり()→留保条件無し()、留保条件有り()
延長なし()
9. 専門医・認定医制度の期間留保条件について、①認める、②認めない、③未定、④場合による、
から選び答えてください。
国外留学()、病気()、天災などやむを得ない場合()、認定委員の承認()、
妊娠・出産()、育児休業()、介護()
10. 学会雑誌の編集委員数()人、うち女性編集委員数()人
11. 学会大会時の託児所について当てはまる項目に○を
不要である()→不要と考えているが設置している()
必要である()→設置している()、設置していない()、設置を予定している()、未定()
12. 11で、「必要である」と答えた方に「託児所用のマニュアル」について
あった()、無かった()、
学会運営会社が手配したので知らない()、その他()
13. 貴学会が女性医師支援のための具体案をお持ちでしたら教えてください。

注)正確に人数を把握していない場合には、おおよその数を答えてください。